

名 称	くりこやますいどう 栗子山隧道（万世大路）									
エ リ ア		●	米沢市		南陽市		高畠町		川西町	
概 要	★当時日本最長の長さを誇った隧道 明治9年、山形県初代県令三島通庸により、「交通の整備が県を発展させる」として山形県米沢市（旧 南置賜郡米沢今町）から福島県との県境をまたぐ、当時としては異例の大規模な道路工事が始まりました。中でも県境に掘られた栗子山隧道は長さ876mという当時は鉄道を含めても日本最長の隧道でした。当時としては驚くべき長さにもかかわらず東西から掘削された隧道は少しもずれることなく、日本人技術者の測量と設計技術の高さを証明する工事ともなりました。 明治14(1881)年10月3日に明治天皇の東北御巡幸にあわせて開通し、後に「萬世ノ永キニ渡リ人々ニ愛サレル道トナレ」という願いを込めて、明治天皇が萬世大路と命名されました。 昭和41年に現・国道13号栗子ハイウェイが完成し、長期に渡り活躍した「万世大路」のうち、栗子山隧道を含む区間はその役割を終えています。									
所 在 地	米沢市万世町刈安						Googleマップで 位置表示  https://maps.google.com/maps?oc=37.896374,140.263415			
交通情報	米沢駅より約11.0 km 車で散策路の入口（瀧岩上橋）まで約30分 散策路入口より約4.1km 歩いて約1時間30分									
問 合 せ	山形県置賜総合支庁建設総務課 TEL：0238-26-2232						駐車場	有	台	（無）
U R L										



(左) 栗子隧道 (右) 栗子山隧道

(撮影時期: 6月)

(上右) 県令三島通庸が整備した栗子山隧道

(上左) 昭和11年の大改修で整備された栗子隧道

(右) 栗子山隧道坑口に残るノミあと

